

夢のような就職話は、やっぱり夢だった？

夢のような仕事の話でした。仕事を探している貴方は、新聞に掲載されている遊覧客船の求人広告を目にしました。肩書きも待遇も良さそうなので、早速新聞に載っている番号に連絡して、申込書と履歴書をファックスし、電話で簡単なインタビューを受けて、めでたく内定をもらいました。

求人広告は大新聞に掲載していたし、先方の電話での対応も丁寧で、給料など具体的な話までしたので、貴方はこの就職話をすっかり信じ込んでしまいました。一生に一度のチャンスだと思った貴方は、出勤用の制服と靴を購入するための数百ドルをすぐ送金しました。

しかし、支払を済ませたとたん、先方からの連絡が途絶えました。求人会社の電話番号も通じなくなり、遊覧客船の運営会社に直接問い合わせると、貴方がやり取りした求人会社は聞いたこともない会社で、貴方が応募した職位も存在しないことが判明しました。貴方は「就職詐欺」の被害者になったのです。

就職詐欺

就職活動をした経験のある人であれば、その大変さはよくご存知のはずです。就職活動は仕事自体より大変な場合もあるほどです。ですから「理想の仕事」の話に、思わず飛びつきたくなる心理もよく分かります。残念ながら、そういう求職者の心理を利用して悪事をはたらく不届者がいるのです。

就職詐欺には様々な手口があります。上記の「遊覧客船に就職」というケースはよく見られる手口ですが、他の職種にも同種の詐欺が発生しています。詐欺の場合の共通点は、雇用の前に、制服代や靴代、申込手数料または安全検査の費用など、必ず何らかの支払いを請求してくることで

理想の就職先を見つけると、なるべく早く確保したいと思うのは当然の人情です。しかし、もし先にお金を請求されたら、まずその就職斡旋会社が合法的な会社かどうかをよく調べましょう。下は就職詐欺に遭わないためのヒントです：

- 雇用の前に何らかの費用を請求されたら用心しましょう。ちゃんとした就職先ならば制服代など先に請求する場合は殆どありません。
- ウェスタンユニオンは、見ず知らずの他人または身元のはっきりしない人との取引に送金サービスを使うことをお勧めしていません。
- よく知らない就職斡旋会社や業者とやり取りをする場合、まず現地の業界団体に問い合わせ、合法的な会社か、苦情など問題を引き起こしていないかご確認ください。電話一本で被害を受けずに済む場合もあるのです。
- 就職詐欺の被害に遭われた場合は、まず現地の警察とその求人広告が掲載された新聞に連絡しましょう。犯罪者が捕まるきっかけとなるだけでなく、他の被害者が出ないようにするためでもあります。

ウェスタンユニオンはお客様の大切な財産をお守りするために、詐欺防止を真剣に取り組んでおります。大切なお客様が詐欺の被害に遭わないように、詐欺のさまざまな手口への用心を積極的に呼びかけております。